

科 目 名

映像編集演習 Image Compiling Exercise

2年 後期 2単位 選択

宗 像 誠

概 要

近年の映像メディアでは、デジタル化の進展とともにコンピュータで編集した映像が主流になっている。本演習では、映像編集ソフトを用いて実際に編集を行い、編集の仕組みを理解し、基本技術を訓練しながら学ぶ。また、これに深く関わるハードウェアの仕組みについても学び、応用技術習得への橋渡しを行う。

目 標

- ① 種々のデジタル映像をデジタルファイルとしてコンピュータに取り込む手法を実習する
- ② 取り込んだ映像ファイルについて基本的な編集法を理解するため、テーマごとに編集技術を習得する
- ③ 個々の習得事項を総括して、編集による映像作品を試作演習する

授業計画

| テ ー マ | 内 容 |
|-----------------|---------------------------------------|
| ① キャプチャ（デジタル録画） | デジタル化、ソフトウェアとハードウェア |
| ② キャプチャ（デジタル録画） | ビデオフォーマット、エンコード方式 |
| ③ キャプチャ（デジタル録画） | 録画インターフェイス |
| ④ 編集（静止画、動画、音声） | フィルタ、エフェクト、ゴースト除去 |
| ⑤ 編集（静止画、動画、音声） | シャープネス、クリッピング、色調補正 |
| ⑥ エンコード方式 | DVD-Video 規格等 |
| ⑦ オーサリング | 各種方式 |
| ⑧ メディアライティング | データ書き込み、統合ソフトウェア |
| ⑨ メディアライティング | DVD 作成、CD-R Video CD 作成、AV プレーヤー操作と選択 |
| ⑩ トリーミング技術 | 消去、追加、コピー、多重処理 |
| ⑪ 特殊効果 | 消去、追加、コピー、多重処理 |
| ⑫ 自由作品製作 | 規定項目優先処理 |
| ⑬ 自由作品製作 | 規定項目優先処理 |
| ⑭ 自由作品製作 | 自由項目優先処理 |
| ⑮ 自由作品製作 | 自由項目優先処理 |

学習到達度の評価

毎回、前回までに行った映像処理結果を最初の未処理の状態から繰り返しやり直して復元する。時間中に記録作成しておいた自己マニュアル（レポート）を見ながら、前回の映像処理の結果を復元できれば、達成度100%とする。

授業方法

Windows ムービーメーカーを用いた一連の映像編集を通して、授業計画のテーマの基本を習得する。演習テキストの課題達成を主体に、パワーポイント・ビデオ等も交えながら演習を行う。演習時間以外にもインターネット通信により逐次指導を行い、試行錯誤を通して課題達成のワンポイントアドバイスを行う。

評価方法

出席状況、演習態度、レポート内容を加味して評価する。

教 材

プロが作成した各種編集素材、プロが編集した映像編集例各種